

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	郷土料理等を活用した学校給食情報化推進事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	スポーツ・青少年局		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 松川 憲行
会計区分	一般会計		上位政策	健やかな体の育成及び学校安全の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	学校給食法第10条		関係する計 画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	学校関係者や保護者が、子どもたちに、地域の食文化や地場産物等に関心を持たせ、継承する機会を提供することができるよう、学校給食の献立に取り入れられている地域の郷土料理、行事食やそれに使用されている地場産物等の紹介等を行うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>各地域の栄養教諭・学校栄養職員、学校給食関係の各種団体及び地域住民等と連携協力を図りつつ、次の事業を行う。</p> <p>(1) 各地域の行事食等に活用されている地場産物についての事例収集 (2) 各教科等において教材として活用した地場産物を使用した献立の事例収集 (3) 事例集の作成、各教育委員会等へ配布、ホームページを通じた情報発信</p>					
実施状況	(社)全国学校栄養士協議会に委託し、地域の行事食及び地場産物を教科指導等に生かした指導事例を収集し、行事食料理集及び指導事例集の作成やホームページを通じた情報発信などを行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	20	18	0	—
	執行額	—	25	16		
	執行率	—	126.5%	92.8%		
	総事業費(執行ベース)	—	25	16		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	委託事業終了時に提出のある委託事業完了報告書、成果物により事業内容や経費の執行について確認を行っている。 特に経費については、委託事業完了報告書に添付される証拠書類(収支簿、見積書、納品書、請求書等)により適切な執行がなされているか、事業の内容、目的との整合性の観点から、詳細に確認を行っている。				
	見直しの 余地	当該事業は、平成21年度限りの事業である。				
予算 チーム 監視 の 効 率 化	本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補 記	平成20年度については、他事業から流用しているため、執行率が100%を超えている					

文部科学省
16百万円

諸謝金 0.04百万円 を含む

学校給食の献立に取り入れられている地域の郷土料理、行事食やそれに使用されている地場産物等の紹介等を行うための委託事業の実施。

【公募・委託】

A. 郷土料理等を活用した学校給食
情報化推進事業：16百万円

(社) 全国学校栄養士協議会

・学校給食の献立に取り入れられている地域の郷土料理、行事食やそれに使用されている地場産物等の事例収集を行うとともに、事例集の作成等を行う。
また、事業の成果を広く周知・普及する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(社)全国学校栄養士協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	事例集印刷等	8.4			
旅費	会議出席旅費等	5.6			
消耗品費	コピー用紙等	0.7			
制作費	Webサイト構築	0.6			
諸謝金	委員謝金等	0.5			
通信運搬費	事例集送付等	0.2			
借損料	会場借料	0.1			
会議費	お茶代等	0.1			
計		16.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

※ 単位未満を四捨五入している関係で、積み上げと合計が一致しない。